

3月定例会代表・一般質問

代表質問で米原市政の基本姿勢を問う



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

代表・一般質問日程決まる

山脇議員の代表質問

2月24日の会派代表質問の内容と日程が17日開催の議会運営委員会で確認されました。日本共産党米原市議団の山脇正孝議員は会派最後の3番目(午前11時頃)に行います。質問の大項目・小項目は次のとおりです。

1、人口減少時代のまちづくりをどう進めるか

- ① 第1次総合計画の検証に基づく目標の達成・未達成項目の公表について
 - ② 第2期総合戦略の期中評価をして、政策等に反映させるべきだが、どうか
 - ③ 年少人口や生産年齢人口の増加を図りながら人口減に備えた政策の実行を
 - ④ 大都市若年世帯女性をイメージ・ターゲットにする総合戦略は正しいか
 - ⑤ 附帯決議をどう考えるか、サウンディング調査をどう行うのか
 - ⑥ 議会の意見書に続き、国や県に対して学校給食無償化の財政支援要望を
- #### 2、人口減少地域での暮らし・農業を守るまちづくり
- ① 人口減少地域住民を守る市の具体的施策の遅れについて問う
 - ② 中山間地域集落の維持可能な条件について問う
 - ③ 中山間地域農業の維持可能な条件について問う
 - ④ 農業人口減少に伴う、市の集落営農の現状について問う
 - ⑤ 集落営農の維持可能な条件について問う
- #### 3、外国籍市民が安心して住める多文化共生のまちづくり
- ① 十分な社会保障のない外

3月定例会の代表質問、一般質問の日程が決まりました。日本共産党米原市議団の代表質問・一般質問のテーマ等について掲載します。

国籍市民の生活保障についての認識を問う

② 日本語教室参加者に対する交通手段の確保について問う

③ 外国籍市民が医療受診時に利用できる通訳システムの検討について問う

④ 外国籍市民が働く企業への就労等の実態把握について問う

藤田議員の一般質問

2月27・28日の一般質問では10人の発言通告があり、27日は7人、28日は3人の一般質問となります。藤田議員は1日目5番目で午後3時頃を予定しています。大項目・小項目は次のとおりです。

- 1、市国保の現状と県国保運営方針について問う
- ① 米原市の国保税引き上げのシミュレーションについて
- ② 県国保運営方針では早い時期の県内保険料の統一を求めているが可能か
- ③ 県第2期においては県の激変緩和措置が設けられたが第3期はどうか
- ④ 決算補てん等目的の法定外一般会計繰入れを原則行わないとしているが
- ⑤ 「子どもの均等割保険料の検討」が掲げられている

- が、検討状況は
- ⑥ コロナ禍での税減免制度、傷病手当金制度の実施状況を問う
- ⑦ 「資格証明書」「短期保険証」「保険料差押え」の運用について問う
- 2、マイナンバーカードを保険証とすることについて問う
- ① マイナンバーカードの保険証に紐づけることについての現状を問う
- ② 米原市内の医療機関でマイナンバーカードを使える割合を問う
- ③ マイナンバーカードを保険証として利用するためのパスワードの管理は
- ④ マイナンバーカードを紛失した場合の診察や悪用について
- 3、オンライン診療・巡回診療の可能性について
- ① 今後の地域医療については、オンライン診療の可能性は
- ② 巡回診療とオンライン診療を組み合わせることに
- ③ これから実施する医療機関に対する支援は可能か

雑感

確定申告の時期です。2月16日から3月15日となっております。毎年ですが早く済ませたいと思っております。ギリギリになることが多いです。しかし税金の使い方、本当に我々の生活のため使われているのか疑問になります。今回の防衛計画では43兆円にも上る軍事費に使われます。多くはアメリカからの武器調達です。またその武器は射程距離を伸ばし相手国の軍事施設だけでなく政権の心臓部に向けられます。これが敵基地攻撃能力(反撃能力)です。もしこれを準備すれば相手も必ずそれに対抗する武器を備えることは必定です。日本は先の戦争の反省から戦争をしないと決めたのではないかと。間違った情報で戦争になる可能性は否定できません。またアメリカの戦争に巻き込まれる場合もあります。多くの国民が今物価高などで生活が苦しくなると言っています。岸田自公政権の支持率も下がったままです。国民の役に立つ税金の使い方を強く求めたい。

